

中間報告書

令和3年9月15日現在

1 事業名

備中地域の伝統芸能を通じた地域活動

～「本物の能楽」に触れて地域における伝統芸能・伝統文化を再発見しよう～

2 実施期間

令和3年4月18日～令和4年2月28日

3 事業内容

① 事業の目的・概要

備中地域の伝統文化・伝統芸能を知ることにより、自らの存在が地域社会の中で育まれたことを再認識し、若い世代に地域のためにできること、故郷のためにできることを探すきっかけになればと考える。この事業により地域住民主体によるまちづくりや、地域住民による地域の魅力の発信など、当該地域の魅力の再発見につなげていきたい。

② 事業の流れ・進捗状況等

<実施したこと>

■備中能楽体験教室

2021.7.18 倉敷会場（「つくぼ片山家」） 2021.7.25 早島会場（「いかしの舎」）

参加者：倉敷会場 16名、早島会場 13名(当日欠席2名) 計 29名

<今後、実施すること>

■備中能楽講座 2021.11.14(暫定) 総社市 FLCビル

能楽師による能楽講演会。総社で伝統芸能（備中神楽）活動を展開しているNPO 法人かなぎと連携し開催。会場は、地域活動に熱心なあさのクリニック所有の地域活動交流拠点「FLCビル」を予定している。

（上記は現時点での予定であり、感染症対策等により日程や内容の変更の可能性あり）

■備中伝統芸能フェスティバル 2022.2.6「倉敷芸文館」

演納会（演目「藤戸」）に加え地域の活動者による活動報告等を予定。また、ホールロビーに伝統芸能関係団体の活動発表・交流ブース等を設置予定。

（上記は現時点での予定であり、感染症対策等により日程や内容の変更の可能性あり）

③ これまでの成果・効果、今年度事業終了後の成果・効果の見込み

今年度の成果目標である「地域の伝統文化を知ることにより、自分が住んでいる地域の活動に興味を持ち年齢層を問わず地域の伝統文化・伝統芸能に積極的に参加するようになる」、及び優れた伝統的な文化・芸術・芸能に触れることにより、若い世代が持つ創造力思考力等を養い、地域における伝統文化や伝統芸能を身近に感じられるようになる」という目標を計画した。現時点では企画イベントのうち1種類の企画（「備中能楽体験教室」）しか開催できていないが、当該企画参加者からは高い評価をいただき一定の成果があったのではないかと思われる。

（詳細は別紙「2021.7 能楽体験教室 参加者アンケート結果」参照）

成果目標	指標	現状 (数値)	目標 (数値)	実績(現時点)
はじめて伝統芸能に触れる地域住民の数を増加させる	参加者アンケートで「初参加」をカウント	0	各イベントで参加者比率25%	既実施分 60%以上
企画を連携して運営できる団体等の獲得	後援や運営協力団体をカウント	0	団体数10か所以上	(2月イベント未)
伝統芸能を身近に感じてもらい、地域への愛着を醸成する	参加者アンケートによる意識の変化等	—	—	既実施分 高評価

④ 課題等

○コロナ禍におけるイベントの開催について

新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、イベント開催に大きな支障が出ている。当初の計画では「備中能楽講座」は当初2021年5月に開催予定であったが、感染第4波の拡大により延期。代替日程を9月に設定したが、感染第5波の影響で再延期となった。

感染拡大の状況を備中県民局と協議しながら、当法人内で検討のうえ、随時対応しているが、当該対応に翻弄されている印象が強い。

特に、2022年2月に開催予定の「備中伝統芸能フェスティバル」は企画するイベントのなかで最も大規模なものであり、演者・活動発表等出展者・イベントスタッフ・参加者などの大勢の人間が特定の場所（開催会場の「倉敷芸文館」）に集結することとなっている。

チケット販売等の事前準備等も膨大にあるなか、感染の急拡大により開催可否の再検討が必要となった場合、関係者の了承を得ながら開催可否を迅速に判断し、その後の対応を適切にできるかが課題と考える。

4 参考事項・資料

- ・写真（開催済みイベントの様子）
- ・アンケート結果（2021.7 能楽体験教室 参加者アンケート結果）
- ・イベントビラ、事業概要パンフ

事業計画書

①団体名	特定非営利活動法人 つくぼ片山家プロジェクト
②テーマ区分	指定テーマ(4) 「備中地域の魅力・伝統文化の発信」
③事業名	備中地域の伝統芸能を通じた地域活動～「本物の能楽」に触れて 地域における伝統芸能・伝統文化を再発見しよう～
④採択回数等	1回目(初申請) *令和2年度に採択され、継続する事業については、いずれかを○で囲んでください。 新制度の適用 ・ 経過措置規定の適用 (補助率4/5以内、上限160万円) (補助率1/2以内、上限100万円)
⑤事業目的	備中地域の伝統文化・伝統芸能を知ることにより、自らの存在が地域社会の中で生まれたことを再認識し、若い世代に地域のためにできること、故郷のためにできることを探すきっかけになればと考える。この事業により地域住民主体によるまちづくりや、地域住民による地域の魅力の発信など、当該地域の魅力の再発見につなげていきたい。
⑥現状及び課題	能楽や神楽などの伝統芸能の文化は岡山県のみならず全国的に指導者の高齢化や能舞台等の活動の場所の減少により、そのポテンシャルを十分に発揮できない状況にある。また、能楽や神楽という名称は知っていても実際にそれらを体験・鑑賞したことのある人々は減少の一途となっている。こうした現状に拍車をかけることとして「本物の伝統芸能」に触れる機会がなく仮に貴重な機会として地元備中地区で上演会等が開催されたとしても、開催経費等の関係で受講料・観覧料が高額となり、一般的な市民、特に学生や若者層はその負担から参加を躊躇してしまうといった課題がある。
⑦事業内容	<p>(1)「備中能楽講座」(能楽night in総社)【開催回数:1回】 開催日:令和3年5月8日(土) 令和3年11月14日 暫定 会場:総社市・FLCビルかぐらや(「NPOかんなぎ」との連携) 参加者:備中エリア地域住民(主に総社エリア) 講師:林宗一郎(観世流シテ方) 内容:源平合戦を取り上げた能について講演会を行い、謡の体験をする。</p> <p>(2)「備中能楽体験教室」【開催回数:2回】 開催日:①令和3年7月18日(日) ②令和3年7月25日(日) 会場:①「つくぼ片山家・能舞台」(倉敷市) ②「いかしの舎」早島町 参加者:小中高生他、地域住民 講師:観世流シテ方、幸流小鼓方 内容:室町時代から続く日本の伝統芸能「能楽」の仕舞・謡・小鼓を体験する。主として、地域の小学生から高校生を対象に、プロの「能楽師」からレクチャーを受けられる貴重な経験の場である。</p> <p>(3)「備中伝統芸能フェスティバル」(「藤戸」演能会等)【開催回数:1回】 開催日:令和4年2月6日(日) 会場:倉敷芸文館ホール 参加者:備中エリア地域住民他、近隣の関心を持つ人 内容: (1)謡発表会・・・能楽講座で体験した一般参加者が謡の発表会を行う。 (連携して活動した団体の活動等のコラボレーションも企画中) (2)能楽解説(歴史的背景等講話):「藤戸」を紐解く (3)能楽「藤戸」(出演:林松響会)</p>
⑧天災地変、感染症等で⑦の事業が実施できない場合の対応	オンラインでのWEB配信や小規模会場での規模縮小等を検討し、可能な限りの開催を目指す。(開催の状況を収録。YOUTUBE等で配信) また当該イベントに興行保険をかけ、万一開催中止になった場合の損失に備える。

⑨今年度の成果目標と指標	①地域住民に広く「本物の伝統芸能」に触れる機会としての企画・イベントを開催し、伝統芸能や伝統文化について、身近に感じてもらう機会を創出する																
	②備中県民局管内の行政機関、市民団体や学校等と連携して企画を運営・広報することで伝統芸能通した、地域活動を連携や協働して活動できるネットワークをつくる。																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果目標</th> <th>指標</th> <th>現状(数値)</th> <th>目標(数値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はじめて伝統芸能に触れる地域住民の数を増加させる</td> <td>参加者アンケートで「初参加」をカウント</td> <td>0</td> <td>各イベントで参加者比率25%</td> </tr> <tr> <td>企画を連携して運営できる団体等の獲得</td> <td>後援や運営協力団体をカウント</td> <td>0</td> <td>団体数10か所以上</td> </tr> <tr> <td>伝統芸能を身近に感じてもらう、地域への愛着を醸成する</td> <td>参加者アンケートによる意識の変化等</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	成果目標	指標	現状(数値)	目標(数値)	はじめて伝統芸能に触れる地域住民の数を増加させる	参加者アンケートで「初参加」をカウント	0	各イベントで参加者比率25%	企画を連携して運営できる団体等の獲得	後援や運営協力団体をカウント	0	団体数10か所以上	伝統芸能を身近に感じてもらう、地域への愛着を醸成する	参加者アンケートによる意識の変化等	-	-
	成果目標	指標	現状(数値)	目標(数値)													
はじめて伝統芸能に触れる地域住民の数を増加させる	参加者アンケートで「初参加」をカウント	0	各イベントで参加者比率25%														
企画を連携して運営できる団体等の獲得	後援や運営協力団体をカウント	0	団体数10か所以上														
伝統芸能を身近に感じてもらう、地域への愛着を醸成する	参加者アンケートによる意識の変化等	-	-														
⑩中期(数年)的な目標	<p>■当法人だけでなく、備中県民局管内の伝統芸能で活動している団体等と連携して、具体的な企画・イベントを協働開催する。また、ご当地で相互の活動発表を行うなど、志を同じくする活動団体と連携した活動が可能となる「場」(プラットフォーム)を創ること。</p> <p>■伝統芸能に限らず、観光や地域振興、福祉実践等、地域で精力的に活動されている多分野・多方面の地域活動とコラボレーションし、新たな着眼点での事業協働や企画運営を行う。</p>																
⑪長期的な目標	地域住民が地域の伝統文化にふれ、地域の魅力や伝統文化・伝統芸能を認識することにより地域社会におけるつながりを深め、地域住民が主体的に地域活動を担える雰囲気醸成する。(地域の出来事を「わがごと」として、「地域丸ごと」で取り組む、まちづくり文化の醸成)																
⑫翌年度以降の事業展開の予定	能楽講座・体験教室の対象地域を拡大し、今年度開催できなかった他の備中エリア(例:井原・笠岡市等)での開催を計画。地元学校や伝統文化の継承団体等ともさらに連携し地域に愛着や関心を持ってもらえるような事業を行いたい。																
⑬事業実施に関連する活動実績・アピールポイント	<p>■当法人が管理・運営する「つくぼ片山家」には能舞台があり能楽関係のイベントを主催できる会場を活用した企画が可能。</p> <p>■能舞台の存在から伝統芸能関係者・能楽関係者だけでなく、地域の伝統文化に興味をもち積極的に活動している人材とのネットワークがある。</p> <p>【助成実績】福武教育文化振興財団・教育文化活動助成(2018-2020年継続助成)</p>																
⑭想定される役割分担	<p>【団体】</p> <p>■「備中地域の伝統芸能を通した地域活動～「本物の能楽」に触れて地域における伝統芸能・伝統文化を再発見しよう～」の事業実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画にあるイベント(備中能楽講座,能楽体験教室,備中伝統芸能フェスティバル等)を企画・立案すること。 ・進捗管理を適切に行い、業務日程計画表に沿って事業を遂行すること。 ・次年度以降も同様の事業が継続できるよう、関係機関・団体等との連携を強化し、ネットワークを構築すること。 <p>■各種保険への加入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の不慮の事故や、天災等によるイベント中止に備え「興行賠償責任保険」及び「興行中止保険」へ加入すること。 <p>■事業報告書等の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間報告及び事業実績報告書の作成を行うこと。 <p>【県民局】</p> <p>■企画への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・甲が実施する事業「備中地域の伝統芸能を通した地域活動～「本物の能楽」に触れて地域における伝統芸能・伝統文化を再発見しよう～」に対し、助言を行うこと <p>■イベント告知・参加者募集等への協力・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備中県民局管内の関係機関や市町村にチラシ等を配布するなど、県民の参加がより広く得られるように支援すること。 ・募集段階から事業実施に至るまで、マスコミを利用した広報に努め、事業成果を高めること。 ・連携可能な行政機関や特定非営利活動法人との協働を支援すること。 <p>■補助金の交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画、役割分担にそって予算の範囲内で、甲に対して補助をすること。 <p>【その他】</p> <p>マスコミや地域の学校、文化振興財団等への広報協力依頼等</p>																

【理由・期待できる相乗効果】

- 地域住民や地域の学校、文化振興やまちづくりを実施している特定非営利活動法人等と連携→各々の立場で企画の立案や運営に参加の協力依頼→活動を通して備中地域の伝統文化に関心を持ってもらう。
- 行政ホームページやイベント案内等により地域外の関心を持つ層に情報を発信。当該地域に訪れて伝統芸能に触れてもらう機会を増やす。こうした取り組みにより企画に参加する地域内・外の交流人口を増加させ、備中地域の魅力として伝統文化・伝統芸能を再発見する機会を設ける。
- 備中地域を舞台とした伝統芸能である能楽「藤戸」の存在を発信して、さらなるイベントの注目が高まることを期待する。

<記入上の注意事項>

- 1 それぞれの項目についてはできるだけ具体的に記入してください。
- 2 「⑤事業目的」欄は、事業を通じて目指す将来的な姿(社会、経済、生活、環境など)、解決したい地域課題や受益者等を踏まえて記入してください。
- 3 「⑥現状と課題」欄は、理想と現実とのギャップ(問題)、事業実施の要因となる地域課題等について記入してください。根拠となる統計データや当事者ニーズ等があれば、それも示してください。
- 4 「⑦事業内容」欄は、課題解決や事業目的における意味・位置づけとともに対象者、実施地域、実施方法などを事業項目ごとに分かりやすく記入してください。
- 5 「⑧天災地変、感染症等で⑦の事業が実施できない場合の対応」欄は、代替案の検討、事業縮小、事業中止などの考えを記入してください。
- 6 「⑨今年度の成果目標と指標」欄は、⑤の目的を果たすために今年度事業で目指すところ(短期の成果目標)を具体的に記入し、事業を評価するための指標と、実施前(現状)と実施後(目標)の数値について記入してください。具体的な数値が得られない場合は、目標と指標のみを記入してください。
- 7 「⑩中期(数年)的な目標」欄及び「⑪長期的な目標」欄は、⑤の目的を果たすため、中長期的に目指すところ(中長期の成果目標)について、具体的に記入してください。
- 8 「⑫翌年度以降の事業展開の予定」欄は、「⑩中期(数年)的な目標」及び「⑪長期的な目標」を踏まえ、翌年度以降に実施する予定の事業内容、組織体制、財源等について記入してください。
- 9 「⑬事業実施に関連する活動実績・アピールポイント」欄には、備中地域への波及効果、事業の先進性、先駆性及び独自性に関すること、継続事業における活動実績や成果等について記入してください。
- 10 「⑭想定される役割分担」欄は、協働協定書に基づく提案団体及び備中県民局の役割を記入するとともに、その他関連団体や機関の想定される役割等を記入してください。

日程計画表

年月	事業内容	場所	規模等
R3. 11.14 <u>5-8</u>	「備中能楽講座」 暫定	総社市 「FLC ビル」 「総社かぐらや」	20 人程度
R3. 7.18 7.25	「備中能楽体験教室」 倉敷会場 早島会場	つくぼ片山家 いかしの舎	各回 定員 15 人 20 人程度 20 人程度
R4. 2.6	「備中伝統芸能フェスティバル」 ①能楽講座で体験した一般参加者の謡の発表会 や関係団体等によるパフォーマンス等 ②能楽解説(歴史的背景等講話) タイトル:「藤戸」を紐解く ③演能会(演目:「藤戸」)	倉敷芸文館 大ホール	300 人程度

<記入上の注意事項>

- 1 事業実施年度の年間スケジュール案を記入してください。
- 2 「場所」欄は、想定される実施場所を記入してください(例:〇〇市文化センター、△△市内)。不明な場合、特定できない場合等は未記入で構いません。
- 3 「規模等」は、参加予定人数、印刷部数等数量的に想定される量を記入してください。不明な場合は未記入で構いません。

「備中能楽体験」





2021.7 能楽体験教室 参加者アンケート結果

岡山県備中県民局・NPO 法人つくぼ片山家プロジェクト

お手数ですが、今後の企画運営等の参考としてアンケートにご協力をお願いいたします。

(1) ご来場者様について下記の質問にお答えください (〇の数字は総数)

住所 ㉕	倉敷市：14 岡山市：9 早島町：2
性別 ㉕	男性：7 女性：18
年齢 ㉖	10代：13 20代：1 30代：4 40代：4 50代：2 60代以上：2
職業 ㉖	生徒・学生：13 会社員：3 自営業：4 公務員：1 主婦：5
来場手段 ㉗	徒歩：1 自動車（施設駐車場利用）：16 自動車（送迎）：5

(2) 本日の企画について下記の質問にお答えください。

①本日の企画の開催日程・開催時間についての評価をお願いいたします ㉘
1：とてもよい：22 2：よい：2
②本日の企画内容につき、率直な評価をお願いします ㉘
1：とてもよい：22 2：よい：2
③あなたは伝統芸能・伝統文化に関するイベントに参加したことがありますか？ ㉙
1：ない（今回がはじめて）：13 2：ある：9 （程度 数年に1回：1 1年に1回：1 その他：定期的7）

一部記載漏れあり。実数値にて記載

1. 属性

住所：①備中県民局エリア 倉敷市：56%、早島町：8%

②その他（岡山市）：36%

性別：男性：28%、女性：72%

年齢：10代：50%、20代：3.8%、30年代：15.4%、

40代：15.4%、50代：7.7%、60代以上：7.7%

職業：生徒・学生：50% 会社員：11.5% 自営業：15.4%、

公務員：3.8%、主婦：19.2%

来場手段：徒歩：4.5%、自動車（施設駐車場利用）：72.7%、

自動車（送迎）：22.7%

2. イベント評価

①開催日程・開催時間

とてもよい：91.6% よい：8.4% （とてもよい・よい評価で100%）

②企画内容

とてもよい：91.6% よい：8.4% （とてもよい・よい評価で100%）

③伝統芸能イベントの参加経験

経験なし（はじめての参加）：59.1%

経験あり（参加したことあり）：40.9% …うち定期的が77.8%

個別記載：

- ・プロの能楽師の方にご指導いただける貴重な体験でした（小学生・女子）
- ・凝縮した内容でアウトラインを知ることができた。（40代・女性）
- ・時間はちょうど良い。昼食後の良い時間（30代・男性）
- ・能が体感できたから☆（小学生・男子）
- ・ずっと体験してみたかったのでうれしいです！（30代女性）
- ・（日程について）日曜なので参加しやすい（10代・女子）
- ・ふだん体験できないことなのでよい（30代・女性）
- ・誰にでもわかりやすく教えていただき楽しかったです（50代・女性）
- ・ようじもなかったしたのしかった（小学生・女子）
- ・はじめての能だった（60代・女性）
- ・日頃体験できない能楽ができてとても貴重な体験でした。見たこともありませんでした。ありがとうございました♡（40代女性）

能楽 Night in 総社

2021年5月8日(土)

18:30~20:30 (終了予定)

ゲストハウス総社かぐらやにて

入場料:2,000円(先着20名/完全予約制)

主催:NPO法人つくぼ片山家プロジェクト

お申込み・お問合せ:080-3107-5759

nrc07173@nifty.com

備中
能楽講座

観世流シテ方・林宗一郎と

「藤戸」を見つめる

※本講座はトークイベントです。能「藤戸」の上演ではありません。
(2022年2月6日に倉敷芸文館で上演予定です)



十三世林喜右衛門
(金の星渡辺写真場)



能「藤戸」とは

1184年の源氏・平家の藤戸合戦が題材。世阿弥の作と伝えられている。

藤戸海峡を隔てて対峙する源平両軍。当時、この地はほとんどが海だった。源氏の軍勢は船がなく、海を渡ることができずにいたが、源氏の武将・佐々木盛綱は、地元の漁師から浅瀬の場所を聞き出して、翌朝そこから攻め込むことに成功する。平家軍は屋島へと敗走。まさに天下分け目の戦いともいえる合戦だった。だが、盛綱はこの時、秘密を守るために、浅瀬を教えた漁師を殺していた。

盛綱が領地となった児島に入ると、その漁師の母親が現れ、盛綱に詰め寄る。盛綱も罪を認め、盛大な法要を営むと、漁師の霊が現れる…。

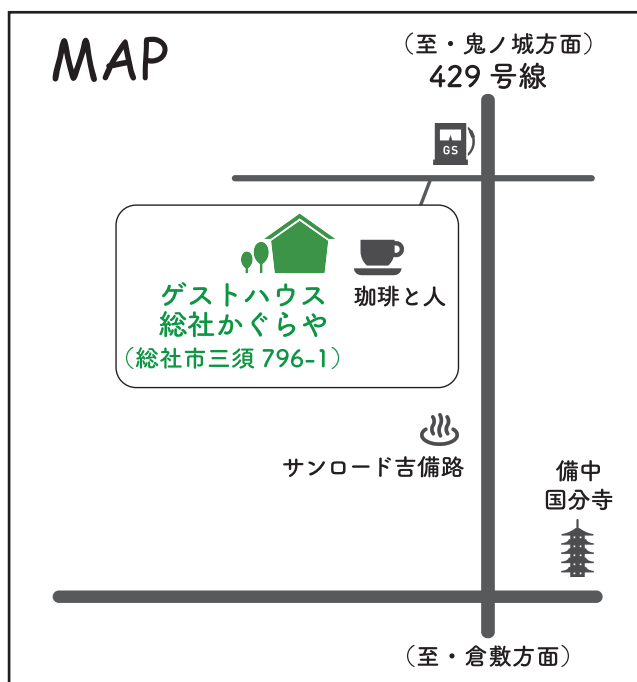
“地域の歴史 × 伝統芸能” 「藤戸」は、こんなにおもしろい！



講師：林 宗一郎氏

能楽師観世流シテ方。

京観世五軒家のうち、唯一残る林家十四代当主。
1979年京都生まれ。3歳で鞍馬天狗の花見役に
初舞台。父、十三世林喜右衛門師、
及び二十六世観世清和に師事。
(右の写真は一昨年「能楽Night」での一コマ)



※新型コロナウイルスの感染拡大状況により、延期・中止の可能性があります。

最新情報は法人HP、法人FB等でご確認ください。

※ご来場の折はマスク着用、事前検温等の「新しい生活様式」に基づくご協力をお願いいたします。

令和3年度 岡山県備中県民局提案型協働事業
NPO法人かなぎと連携して企画運営をしております

\\ 古典芸能はじめての一步! 参加者募集 \\

能楽体験してみませんか?



①倉敷会場 7/18(日) 13:30~15:30

つくぼ片山家 (倉敷市帯高727)

②早島会場 7/25(日) 13:30~15:30

いかしの舎 (都窪郡早島町早島1466)

定員●各回15名 (先着順) 対象●能楽を体験したい方 (小中高生推奨)

参加費●1000円 (高校生以下無料 / 小学生以下は保護者1名のみ同伴)

もちもの●白足袋または白ソックス

※検温、マスクの着用、手洗いや手指の消毒等、感染対策にご協力ください。

お申込み・お問合せ

電話: 080-3107-5759 (滝口)

メール: project.katayama@gmail.com

またはホームページ専用フォームから →



主催●NPO法人つくぼ片山家プロジェクト

共催●岡山県備中県民局

後援●岡山県教育委員会 / 倉敷市教育委員会 / 早島町教育委員会 / 倉敷市文化振興財団



Chisato Juge

講師：観世流シテ方
樹下千慧先生

1987年京都生まれ。6歳にて初舞台。その後、十三世林喜右衛門師に師事する。2012年より林家に内弟子として入門。2017年1月に書生を卒業。
現在は林定期能を中心に多くの舞台に出演し、自宅にてお弟子のお稽古や講師をつとめる。

プロの能楽師をお招きします。
初心者でも、気軽に学べる
本格入門講座!



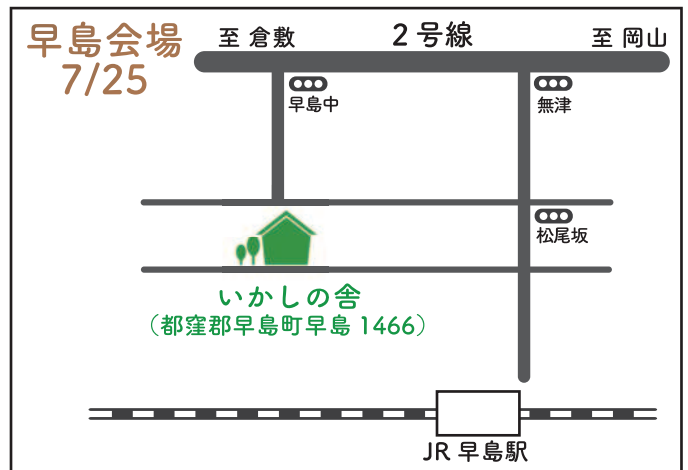
講師：幸流小鼓方
林大和先生

Yamato Hayashi

1982年京都生まれ。父・十三世林吉兵衛師に師事。8歳で初舞台。京都を中心に多くの舞台に出演、パリ、ロンドンなどの海外公演にも参加。
父とともに「林木双会」を主宰。
京都、倉敷のほか、大阪、神戸、浜松などで稽古場を開設している。

体験教室の内容

- ①能楽師による実演
 - ②能楽の解説
 - ③謡(うたい)・仕舞(しまい)・小鼓(こつづみ)の体験
- リトミックと能楽が融合!
誰もが知っている童謡「桃太郎」を能楽で表現してみよう



令和3年度 岡山県備中県民局提案型協働事業

※新型コロナウイルスの感染拡大状況により、延期・中止の可能性がございます。
※企画に関する最新情報や詳細は、当法人HPやFacebookでご確認ください。



【実行委員・活動サポーターの募集！】



当法人は、令和3年度岡山県備中県民局提案型協働事業により備中地域の魅力・伝統文化の発信に取り組み、この事業を通して、地域の多様な主体との連携を深め、地域の活性化を図りたいと考えています。私達と共にイベントを盛り上げ、「活力ある地域づくり」の担い手になりませんか。実行委員と活動サポーターを募集しますので、ご協力いただける方はホームページをご参照のうえ、お申込みください。

- ※参加形態については個人・団体を問いません。
- ※学生グループ、地域サークル等の参加も大歓迎です！

【募集メンバー】

① 実行委員

実行委員会の委員として、イベントの企画立案、運営に参加していただきます。皆様の得意分野や才能を是非発揮してください。

② 活動サポーター

ボランティアスタッフとして、イベント当日の運営に参加していただきます。イベントを成功に導くため、応援してください。

詳しくはこちらから

つくぼ片山家プロジェクト



※インターネットでのお申込みが難しい場合は、下記事務局へご連絡ください。詳細についてご説明いたします。

特定非営利活動法人
つくぼ片山家プロジェクト事務局

〒710-1101岡山県倉敷市帯高727

連絡先：080-3107-5759（代表 滝口携帯）

【HP】 <https://projectkatayama.wixsite.com/p-katayama>

【E-mail】 project.katayama@gmail.com

令和3年度

岡山県備中県民局 提案型協働事業

備中地域の伝統芸能を 通した地域活動

～「本物の能楽」に触れて地域における
伝統芸能・伝統文化を再発見しよう～





伝統芸能の普及も地域活動・まちづくりの一環

ごあいさつ

当法人は倉敷市帯高にある古民家「つくぼ片山家」を活動拠点にして、当屋敷の保存・活用を通して伝統芸能をはじめとする文化芸術の継承や地域での活動によるまちづくりや地域包括ケアの推進を目指す特定非営利活動法人です。この度、岡山県備中県民局と連携した事業（提案型協働事業）に応募し、能楽に関心がなかった地域住民や若い世代が地域の伝統文化・伝統芸能に興味を持ち、地域の活性化が図られるよう、能楽講座・能楽体験を開催するとともに、能楽体験者による発表会や、能楽「藤戸」演能会等を実施する事業を提案し、検討の結果、事業化されました。



「つくぼ片山家」

つきましては、地域の皆様には是非ともこの事業に興味・関心を持っていただき、各種イベントにご参加いただければ幸いです。今後とも、活動につきご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

当法人の概要

法人名	特定非営利活動法人 つくぼ片山家プロジェクト
代表	滝口美保
所在地	岡山県倉敷市帯高 7 2 7
TEL	080-3107-5759 (代表 滝口 携帯電話)
E-mail	project.katayama@gmail.com
URL	https://projectkatayama.wixsite.com/p-katayama
設立	2017年11月
会員数	30名(2021.1現在)
事業内容	つくぼ片山家の保存・活用 文化芸術の継承に関する事業 まちづくりや地域包括ケアの推進

事業概略

事業名称	令和3年度岡山県備中県民局 提案型協働事業
当法人提案 採択事業名	備中地域の伝統芸能を通じた 地域活動 ～「本物の能楽」に触れて地域に おける伝統芸能・伝統文化を再発見 しよう～
事業年度	2021年度(令和3年度) (複数年度にわたる事業提案予定)
主な イベント	実行委員会で下記イベントを 企画運営 ①備中能楽講座 ②備中能楽体験教室 ③備中伝統芸能フェスティバル
連携・協力	岡山県備中県民局 備中県民局管内の行政機関等



地域で「本物に触れる」機会を創ろう

主な事業（イベント内容）

備中能楽体験教室（①倉敷会場：つくぼ片山家 ②早島会場：いかしの舎）



開催日：①2021.7.18(日) ②2021.7.25(日)

終了

開催会場：①「つくぼ片山家」（倉敷市帯高727）

②「いかしの舎」（都窪郡早島町早島1466）

「能楽」の仕舞・謡、小鼓を体験できるイベント。主に小学生や中学生等を対象にした体験イベントを実施します。プロの能楽師から学べる貴重な機会となります。

備中能楽講座（「能楽night in総社」）

再延期



開催日：2021.9.11(土) 未定 *詳細が決まり次第、別途お知らせします

開催会場：「ゲストハウス総社かぐらや」(総社市三須796-1) 未定

観世流シテ方林宗一郎先生を講師に招き、備中地域にまつわる能楽に関する講演会を実施します。能楽の基礎から、ご当地にまつわる演目、登場人物の人物像など興味深いお話が聴講できます。

備中伝統芸能フェスティバル（「藤戸」演能会等） 会場：倉敷芸文館



開催日：2022.2.6(日)

開催会場：「倉敷芸文館」（倉敷市中央1-18-1）

各種伝統芸能や体験者による謡の発表会のセッション、能楽の解説、林松響会による本格的な能楽鑑賞（演能会：演目「藤戸」）を実施します。当該事業の集大成として、本物の能楽に触れることに加え、地域で活動してる団体・個人の発表・交流の場となるよう計画。

※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、事業の中止、及び一部縮小等の可能性があります。